

2012年

5
月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

仁科俊夫

〈編集人・総務委員長〉

井上宣雄

—今月号の主な内容—



平成24年 埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会開催



『まず初めに、本日は全国鍍金工業組合連合会と賀詞交歓会開催日が重なってしまおうと言う不手際があり大変申し訳なく思っております。

本日はお忙しい中、大勢の皆様にご参加頂き誠にありがとうございます。

埼玉県鍍金工業組合（仁科俊夫理事長）は、平成24年1月25日（水）午後5時より（さいたま市）パレスホテル大宮にて、平成24年賀詞交歓会を大勢の来賓、会員らが出席のなか開催された。

はじめに、井上宣雄総務委員長司会のもと、吉田幸司専務理事より開会の辞の挨拶を頂いた。

次に、仁科俊夫理事長より新年の挨拶がありました。

昨年、亜鉛めっきの排水基準規制が改正されましたが我々鍍金業界は暫定基準値5ppmのまま

で継続することが決まりました。その節は衆議院議員の武正公一先生ならびに参議院議員の西田まこと先生のご指導のもと暫定維持ができたのだと思っております。

あいさつになりますが、今は混乱の時代とか物づくりが衰退したとか色々と言われておりますが、弱電業界・自動車業界が今後も日

本を牽引していくのだろうと思えます。先日の新聞記事に日立がテレビ業界から撤退や昨年のタイの洪水の影響もあつて、トヨタ自動車はGMにトップを譲るなど日本自動車メーカーは厳しい状況であつたと思えます。しかし、各メーカーは回復傾向にあると聞いていますので、若干は安心しております。

個人的な主観となりますが、これからは太陽光・太陽熱・鉄道・原子力の3つがこれからの日本の柱と言ってきましたが、震災以降、原子力は厳しい状況となつてしまいました。しかし、本日お配りいたしました1月の会報に『夢を見たい』と書かせて頂いたのですが、先般、フィリピンに視察をしてきたのですが、治安が良くない地域だったので、街中には迷彩服

を着た人が立っているといった状況の都市でした。まだまだインフラ設備が悪くセブ、フィリピンの電化率は良いのですが、それでも50%。2024年までには90%を目指しているとの事です。1月号の会報にも書きましたがインドネシアでさえも30〜40%と言われておりこの様な国々がまだまだあ



るので、日本は軽薄短小も良いが重厚長大の物づくりもまだまだ発展の余地があるのだと思っております。

話は変わりますが、先日、ラフィングヨガを経験しました。

ラフィングヨガとは、何かを見ながら大きな声で笑うだけの事なのですが、指導の先生から相手の目を見て笑いなさいと言われた時は、なんだかこんな事やっていて良いのかと思いましたが、30〜40分ほどやっていると、なんだか気分的にも熱が入って次のエネルギーが沸いてくるように思いました。日本のことわざにもありますが、やっぱり笑うと言う事は良いことなのだと思いました。そう言った意味でも今年一年間は眉間にシワを寄せて難しい事は考えず

に、明るく楽しくそして笑顔をもって組合活動を邁進してまいりたいと思いますので、どうかご協

力、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。』

続いて来賓祝辞を埼玉県上田清司知事代理の山中 徹産業労働部 副部長より知事祝辞を代読、次に衆議院議員 武正公一氏、参議院議員 西田まこと氏、埼玉県議会議員 奥ノ木 信夫氏、神奈川県メッキ工業組合 戸川俊男副理事より、それぞれ新年の祝辞を述べて頂いた後、今井 昭雄相談役の乾杯のご発声を頂き歓談を開いた。

今回の賀詞交歓会では吉田専務理事の紹介でジャズバンドの生演奏と女性ボーカルの歌をBGMに場を盛り上げ終始和やかな雰囲気の中、開催された。また、本年度、全国めつき技術コンクール装飾クロムめつきの部で当組合会員の甲斐野テックスが厚生労働大臣



賞を受賞した事が披露された。最後に石下一明 副理事長の中締め挨拶、小林 満副理事長の挨拶で閉会となりました。

平成23年度(第54回)埼玉県めつき技術競技会並びに排水管理優良事業所表彰式及び講演会

平成24年2月3日(金)「パレスホテル大宮」



ると共に、開催するにあたり多大なるご協力をいただきました埼玉県の各部の多くの方々、ご参加下さった全ての事業所様へ御礼を申し上げます。特に排水管理につ

と断言できる状態ではないため、業界全体として考えていかねばならないと表彰式を機に再確認をいたしました。

講演会

きましては、昨今の環境問題を鑑みる上で我々の業界として重要課題として取り組まなければならない課題として皆様ご苦労されています。垂鉛

今回も表彰式の前には、埼玉県産業技術総合センター様にご推薦いただいた独立行政法人産業技術総合研究所 ナノシステム研究部

堀内先生は今回、海外の出張から戻られたその足で埼玉に駆けつけてくださるといってご多忙の中でご講演いただきましたことを御礼申し上げます。産業技術総合研究所ナノシステム研究部門のホームページをご紹介しますので一度ご覧下さい。

今年度も会場には、たくさんのご来賓にお越しいただき賑やかに開催することができました。

6価と3価クロムの併用やシアン

演をいただきました。

改めて、今年度の技術競技会に入賞されました事業所様と排水管理優良事業所として表彰されまし

い問題が多く聞かれております。昨年末に垂鉛の排水基準を現行の暫定処置が延長することでめつき

「ナノコロイド触媒を用いたエツチングレス無電解めつき」という

所ナノシステム研究部門のホームページをご紹介しますので一度ご覧下さい。

た事業所様にはお祝いを申し上げます

業界は猶予をいただいた状態ですが、施行される日は来ない

表面に凹凸をつけることから始めていた工程を表面に触媒を附着

度ご覧下さい。

http://unitaist.go.jp/nri/index_j.html

〔表彰式〕

はじめに仁科理事長からあいさつがあり、ソニー、シャープ、TDKの赤字や工場閉鎖が新聞で報道され厳しい時代を迎えており、ものづくりが空洞化、真空化してしまうと日本は生きていけない。と話す中で、過去にご自身がつづけた内容に触れ、「ストリンガー」という名を知っている人がどのくらいいたのだろうか。ソニーの自由



闊達な理想工場が古くなったのは事実かもしれないが、ものづくりを生業としている我々としては、さびしい気持ちになる。現場をどこまで知っているのかと反発したくなる」と、ものづくりに懸ける心が大切なのではないかと訴えられた。結びに我々は様々な機会を得ることで、勉強し研鑽し、生き残っていききたいと述べられた。

受賞者は別表を参照いただきましたのですが、今年度は上位の事業所様の顔ぶれに若干の変動がみられ、新たに活躍をされる事業所が増えているようです。来期も皆様のご参加を期待してお待ちしております。総評として浅川技術顧問が「総合的に成績が優秀で、差がほとんどなく、各賞を決めるのが難しかった。難しい仕事をしている間に勉強していただきたいと思う。技術の向上は無限であり、いつまでも続けていただきたい。私

事で恐縮だが、今年で80歳になる。若い人にバトンを渡したいと思う」と考えと共に今回の競技会をもって審査員を退任されることで後継者である我々にエールをお送りいただきました。この場をお借りいたしましたし、永年のご尽力に深甚なる感謝を申し上げます。

排水優良事業者には今年度も11年連続を筆頭に埼玉県知事より感謝状が授与され、継続がいかに大切なことかを同業者として感じております。来年は1社でも多くの事業所がプレートを授与されるよう管理の程宜しくお願い申し上げます。なお、判断される期間は10月から翌年9月を1年と判断いたしております。

日本の製造業の原点に立ち戻り、めつき業界、社業の発展のためにめつき技能・技術や環境問題への向上に今後も一層努力したい」と決意を新たに受賞社代表謝辞を述べられました。

式後、県の環境部、技術センターをはじめとされるご来賓の方々とは、懇親のお時間をいただいた際には、当組合の様々な事業に大変興味を持ってくださり、今後の発展を期待している声を多くいただきました。埼玉県をはじめとする諸機関のご協力を頂きながら、組合員皆さんの力を業界発展に寄与いただけると幸いに感じております。

技術委員長 饗場功治

終わりに受賞社代表として、(株)真工社の眞子岳志社長から「昨年は製造業にとって、想像を超える事業環境変化に直面した一年でした。このような厳しい局面の中、

平成23年度(第54回)埼玉県めっき技術競技会審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		(株)真工社 戸田市美女木東2-2-6	押尾化学工業(有) 秩父市みどりが丘150-15 みどりが丘工業団地	川口ハードクロム工業(有) 川口市弥平1-18-1	(有)高松鍍金工業所 北本市中央2-47
埼玉県産業労働部長賞		小松原鍍金工場 熊谷市銀座3-112 小松原 秀元	(有)池澤鍍金工業所 草加市吉町4-1-27 佐藤 友樹	新硬クローム工業(株) 川口市南鳩ヶ谷3-18-18	カツデン(株) 草加市稲荷2-3-1
埼玉県産業技術総合センター長賞		(有)小林鍍金工業 川口市領家5-13-22	吉野電化工業(株) 越谷市越ヶ谷5-1-19	ダイヤ技研(株) 戸田市笹目北町12-4	(株)小林鍍金工業 さいたま市中央区下落合1087 小林 直樹
埼玉県中小企業団体中央会長賞		(有)今井メッキ工業所 三郷市新和1-187-1 今井 昭雄	(有)小築鍍金工業所 さいたま市大宮区吉敷町3-115	(株)精硬クローム工業 川口市東領家4-18-10	押尾化学工業(有) 秩父市みどりが丘150-15 みどりが丘工業団地
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(有)渡辺鍍金工業所 戸田市笹目7-12-7 澤畑 真樹	(株)サン化学 熊谷市石原1721	(株)オーク埼玉工場 本庄市児玉町宮内838-5 菊池 良一	(有)小築鍍金工業所 さいたま市大宮区吉敷町3-115
フジサンケイ ビジネスアイ賞			(有)ケーエムケー 伊奈町西小針7-16	(株)ミドリ技研 戸田市笹目南町5-3 緑川 健雄	
産業通信社賞			(有)阪本鍍金 さいたま市南区太田窪4-4-3	吉野電化工業(株) 越谷市越ヶ谷5-1-19	

平成23年度排水管理優良事業所

平成22年10月～平成23年9月

表彰事業所

埼玉県知事感謝状	栄電子工業(株)	11年連続	第3支部
〃	双葉硬質クローム工業所	11年連続	第5支部
埼玉県環境部長感謝状	(株)長沢製作所	6年連続	第2支部
〃	東洋硬化クローム(株)	6年連続	第4支部
〃	(有)吉田商店	6年連続	〃
埼玉県鍍金工業組合理事長表彰	押尾化学工業(有)	3年連続	第3支部
〃	(有)高松鍍金工業所	3年連続	第4支部
〃	朝日工業(株)	3年連続	第5支部
〃	(株)ダイエイバレル	3年連続	第7支部

連続年数	支部	プレート授受事業所	連続年数	支部	プレート授受事業所
1年	第1支部	(有)二幸鍍金工業所	14年連続	第6支部	(株)東工業
1年	〃	(株)サニー電化	9年連続	〃	(株)大宮鍍金工業 本社
1年	〃	ダイヤ技研(株)	9年連続	〃	(株)大宮鍍金工業 吉敷
10年連続	第2支部	(株)島崎鍍金	3年連続	〃	仁科工業(株) A工場
5年連続	〃	(有)大松表面化工所	2年連続	〃	仁科工業(株) B工場
5年連続	第3支部	(有)関東メッキ工業	2年連続	〃	(有)ケーエムケー
1年	〃	(有)川口製作所	1年	〃	(有)生田目鍍金
28年連続	第5支部	(株)イシワタ	12年連続	第7支部	(株)精硬クローム工業 第1工場
17年連続	〃	(有)小林鍍金工業所	7年連続	〃	(株)精硬クローム工業 第2工場
13年連続	〃	五光鍍金工業(有)	4年連続	〃	(有)小林鍍金工業
3年連続	〃	(有)植木硬質クローム工業所	4年連続	〃	(有)堤北鍍金
2年連続	〃	(株)パーツ精工	2年連続	〃	新硬クローム工業(株)
2年連続	〃	吉野電化工業(株) 第2工場	1年	〃	(株)サイトウメッキ
1年	〃	チクマ(株)	1年	〃	マエダ鍍金工業(有)
1年	〃	カツデン(株)	1年	〃	(有)共栄工業
1年	〃	松原金属工業(株)	1年	〃	(有)石田電解研磨工業所
1年	〃	(有)池澤鍍金工業所	1年	〃	松本鍍金工業(有)
1年	〃	(有)嶋田鍍金研究所			

彩の国ビジネスアリーナ 2012

平成24年1月25日・26日 さいたまスーパーアリーナ



同開発を求める大学まで幅広い分野で事業のマッチングを求める企業で溢れ、活気がある展示会となりました。

今年も昨年続き、埼玉県鍍金工業組合の有志企業を募り国内最大級といわれる展示会に出展を致しました。埼玉県内はもとより県外からも出展があり、およそ600ものブースが広い広いさいたまスーパーアリーナを埋めていたますーパーアリーナを埋めて各企業がアピールしました。出展はエコカーを展示したホンダ、日産をはじめ加工、製作部門から共

でのアピールが大変難しいです。ブースを眺め歩く方々が、3メートルの自社ブース前を通過する時間はおよそ10秒たらずです。その間にどれだけのアピールをす

ては、主催者側と事前の協議をすることで希望の場所を確保し、最大限のアピールを出来るようにご配慮を頂きながら準備を致しました。今回は6ブースを利用し、3ブース分を対面で配置したことで

通路をも利用できるようにレイアウトを致しました。10事業所がそれぞれ工夫を凝らした展示には、同業者である私でさえ質問をしたくなることも多く、来場者の興味をそそる2日間となったと感じています。

我々めつき業は製品を製作するのではなく、「技術をお客様の品物に乗せる仕事」のため展示会

の間は、主催者側と事前の協議をすることで希望の場所を確保し、最大限のアピールを出来るようにご配慮を頂きながら準備を致しました。今回は6ブースを利用し、3ブース分を対面で配置したことで



めつきの知識を出し合い、お客様の希望にあった会社を紹介しあう。まさに陣を構え全てのお客様を抱え込む理想的な状態で展示会に望めっていると主催者側からも褒めの言葉を頂いています。

すぐに結果に繋がることは無くとも、継続することで、お客様の記憶に残り「あの展示会に行けば、めつきを知り、めつき業者と出会える」ことを目標に毎年の参加を考え、来年は更なる仕掛けを考えて、めつきを多くの方々を知ってもらい新たな組合事業のあり方を模索して参りたいと考えております。来年はさらに多くの事業者様に理解をいただき、一列全てをめつき通りとして出展したいので皆様のご出展をお待ちしております。

技術委員長 饗場 功治

埼玉鍍金工業組合新春賀詞交歓会

平成24年2月3日 於いて..新道山家



埼玉県鍍金工業組合青年部、埼玉鍍金は近隣都県青年部をお招きし、去る2月3日、大宮、新道山家に於いて新春賀詞交歓会を賑々しく盛大に開催いたしました。

本年度、埼玉鍍会に於いては、田中会長の意向により近隣都県青年部との交流をはかり、広く同業他社との理解・連携をすすめ、いが

み合う事でお互いをすり減らすことなく、適正な協力と競争の中で共に、確固たる地位を確保していければとの思いのもと、まずは、お互いの自己紹介の場を設け、今後の理解・連携を深められればと思ひ、本年頭初の賀詞交歓会に近隣都県団体の代表者をお招きすることと致しました。

埼玉鍍会では、昨年度兵庫県鍍金組合青年部との交流に始まり、本年度は、群馬・山梨・東京・神奈川の青年部とのそれぞれの交流事業を実施しており、以前より相互訪問につながる活動を積極的に行なうてまいりました。

奇しくも、リーマンショック後の景気後退、震災、電力不安、電気料金の値上げ等により、関東圏の製造業は少なからずハンデを負う状況にあり、タイの洪水による

再度のサプライチェーンの崩壊、それに伴う再編、及び超円高による空洞化、国内少子化による人口減少、世界的景気後退等、製造業を取り巻く環境は底を打つ事をなく、どこまでも不透明さを増している状況です。

そのような社会情勢の中、同業ながらお互いを知る事も無い関係であるにもかかわらず、無理なコストの削り合いや、製品、品質の粗探しなどにより、お互いの体力の消耗戦のような受注競争では、何ら自身に利益を残せるとは考えられず、結果として仕事も、そして企業も残る事が困難な状況に追い込まれてしまうと思ひます。

競合他社であっても、お互いを理解し、正当適正な競争の中で、切磋琢磨、コストの削減に努めることが、高い次元での共栄、共存

につながり、それぞれの特徴を尊重しあう事であり良い協力、住み分けが、品質・コストの特化に繋がりが、強いてはmade in JAPANの復権に繋がるものと考え、小さな一歩として、まずは青年部同士、関東圏での顔合わせを行い、提携、連携を進め、今後の交流拡大の礎となる事を喜ぶと思ひ、埼玉・埼玉鍍会発の事業として、今回近隣都県団体を、お誘いさせて頂きました。

当日は、群馬、東京、神奈川の三団体の出席を頂き、多忙な日程の中、仁科理事長、石下副理事長のご臨席も賜り、過去に例の無い規模での新年会となり、大変活気ある時間を過ごす事が出来ました。

同じ熱意を感じ、同じ悩みを抱え、想いを共にすることを改めて

確認し、何ら変わる事の無い仲間であり、広域での交流の意義が大きい事を共通の認識とすることができ、今後の交流が益々密になる事を予感できる、非常に充実した時間に誰もが満足したものと自負しております。

今回、日程の都合により、参加交流がかなわなかった諸団体に於いても、順次その輪を広げ、大きな流れ、波や風を起こしていければ埼玉県・埼玉県鍍金工業組合として何よりの功労となるものと思えます。

ご参加頂きました皆様に、感謝と益々のご発展を祈念致します。

埼玉県 副会長 小林直樹

タンポポ計画講習会

平成21年4月～平成24年2月の3年間に於ける、団体安全衛生生活活動援助事業(たんぽぽ計画)が終了致しました、活動報告を致します。

団体安全衛生生活活動援助事業

(たんぽぽ計画)活動事例報告書

代表者 会長 小林 満

団体安全衛生責任者 井上 宣雄

団体設立の経緯

埼玉県労働基準協会連合会の長谷川氏から団体安全衛生生活活動援助事業「たんぽぽ計画」についての話を伺い、安全衛生活動の向上、推進を助けると共に組織的、金銭的にバックアップもあると言うことで、当組合内より募り13社が賛同し、埼玉県鍍金工業組合安全衛生協議会を発足設立した。

たんぽぽ計画における安全衛生生活

1年目

運営委員会	4回
構成事業場会議	1回
相互安全衛生パトロール	1回
災害事例検討会	1回
安全衛生管理計画の作り方研究会	1回
全国産業安全衛生大会	2名
安全衛生診断	13社
安全衛生教育	9社

開始当初は団体の意味等を理解できず戸惑っていましたが、安全衛生診断にて

1社1社工場を訪問し、アドバイザーより熱心に説明を頂き「たんぽぽ計画」

「安全衛生」の事を理解する事ができました。

また、身近に不安な事がこんなにも溢れていると考える機会を頂きました。

安全衛生教育

教育名	人数
フォークリフト運転技能講習会	10名
職長教育等監督者安全衛生教育	3名
玉掛け技能講習	2名
床上操作式クレーン運転技能講習	2名
有機溶剤作業主任技能講習	2名
特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者	2名
安全衛生推進者養成講習会	4名
合計人数	25名

2年目

運営委員会	4回
構成事業場会議	1回
相互安全衛生パトロール	1回
災害事例検討会	1回
安全衛生管理計画の作り方研究会	1回
全国産業安全衛生大会	2名

3年目

運営委員会	4回
構成事業場会議	1回
全国産業安全衛生大会	1名

13事業所で25名の組合員の方が上記資格を取得した。
事業所また業界の大きな力となった。

相互安全衛生パトロールにて、巡視する側は、巡視するスキル向上

を、巡視される現場側は、見落としがちな箇所も改善できるといふ双方に有益な効果を図った。同じ業種の現場な為、より深くまで同業の安全衛生について意見交換もでき有意義なものとなった。

2年間に学んだ安全衛生を各事業所は現場にて役立たせた。

現場を改善した事により、事故を未然に防ぎ、実際その場に直面すると、安全衛生の大切さが切実に分かりました。

3年間のたんぼ計画活動を実施していく中で、事業主だけでなく、従業員も職場の安全衛生に対する意識が飛躍的に向上した。

また今後も、全国的に労働災害事故の発生率の高い小規模事業場における労働災害事故を減らすことを目標に、災害の未然防止や再発防止の取組みを実施することで、今よりも更に安全衛生水準のレベルアップを目指していきたいです。

たんぼ計画事務局

水質汚濁防止法の改正について

地下水汚染の効果的な未然防止を図るため、水質汚濁防止法の一部を改正する法律が平成23年6月

14日に成立、6月22日に公布され、平成24年6月1日より施行されます。

同法により、有害物質による地下水の汚染を未然に防止するため、有害物質を使用・貯蔵等する施設の設置者に対し、地下浸透防止のための構造、設備及び使用の方法に関する基準の遵守、定期点検及び結果の記録・保存を義務付ける規定等が新たに設けられました。

(4)その他(既存の施設に対する猶予期間等)

《水濁法の主な改正内容》

(1)対象施設の拡大

有害物質を貯蔵する施設(有害物質貯蔵指定施設)等の設置者は、施設の構造等について、都道府県知事等に事前に届け出なければならないこととする。

(2)構造等に関する基準遵守義務等

有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設の設置者は、構造等に関する基準を遵守しなければならぬこととする。また、都道府県知事等は、当該施設が基準を遵守していないときは、必要に応じ命令できることとする。

(3)定期点検の義務の創設

有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置者は、

《水濁法の改正の概要》

(1)対象施設の拡大

(2)構造等に関する基準の遵守義務

(3)定期点検の実施、記録の保存の義務

義務

施設の構造・使用の方法等について、定期に点検しなければならないこととする。

(4) 既存施設に対する適用猶予

既存の有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設については、構造等に関する基準等は3年間適用しない。

※法の施工日が平成24年6月1日であるため、平成27年5月31日までは適用されない。

※詳細は、水濁法を所管する環境管理事務所又は自治体にお問い合わせください。

環境委員長 出野哲也

全鍍連 賀詞交歓会を開催



全国鍍金工業組合連合会は、平成24年新春賀詞交歓会を1月25日15時から、東京都港区の機会振興会館B2ホールで開催した。約150名が出席し新年を祝った。伊藤会長は11月の全国大会に次なるスローガン『変革のとき・未来づくりへ』を提案し承認された。これに向かって今年度は進ん

でいく。変革のときと言っても、相変わらず政治は大混乱している。消費税増税、税と社会保障の一体改革と言っているが、どのようになるのかさっぱりわからない。次代を担う若者に希望が無くてもならない。どちらに向かうか、めつき業界はある程度の道筋を付けて行きたいと決意を表した。

きはずべての産業の中核の基盤技術。めつき業界の活性化が、日本経済の活性化に寄与すると確信している。全鍍連はこれまで環境との共生を保ちつつ、『ものづくりは人づくり』人をつくってきた。それから『絆と挑戦』絆をつかんできた。

環境については亜鉛の排水基準が延長になり、全鍍連の願いが通じた。今日は皆さんに汚濁防止の手引書や公害防止マニュアルをお配りした。ぜひとも活用してほしい。経営に関しては若手経営者との懇談会、この2月には女性経営者との懇談会を行うことになっている。女性経営者に関するもう一つ、NHKのドラマ『タイトロープの女』は、本来はめつき業界を舞台にしたドラマにするはずだった。大阪の会社でロケをするとい

うことだったが実現せず、残念だった。

国際情報に関して日韓定期会議。今回は日本、韓国と中国の会議となり、情報交換や経済に関して活発に討論してきた、またベトナムのハノイに行つて現地の工場を視察した。これらの報告書は追つてお手元に届ける。

全国のプロック会議では情報交換を行った。「めつき要覧」はいつにも増して充実させ、危機対策や東日本大震災後の処理についても書いてある。また、めつき業のPR用DVDを付けた。これも有効に利用してほしいとまとめた。まためつき業界は、今までの下請企業から脱皮して開発型、提案型企業を目指していかないといけないと思つている。ただこれは、大変難しいことで、口で言うのは簡単だが、皆さんの力を借りて一歩でも進めていきたいと締めくくつた。

■ 訃報

新谷 芳子さん

新硬クローム工業(株)

取締役会長 ご令室

現相談役 新谷芳夫氏 ご令室

平成24年1月12日 逝去

享年79歳

編集後記



表紙の写真は「彩の国ビジネスアリーナ2012」で、さいたまスーパーアリーナで開催されました。

さいたまスーパーアリーナは、さいたま市中央区のJ.R「さいたま新都心」駅下車すぐです。

可動式の客席(ムービングプロック)を持った多目的ホールで

は国内最大級です。最大収容人数は約3万7千人で、コンサート・スポーツイベント・講演会・見本市会場などに使用されます。

2011年3月東日本大震災による福島第一原発の事故で、埼玉県が避難所に指定し、福島県双葉町から1200人の住民を受け入れました。

印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL 03(3875)1641